

中央・新旭川まちづくり推進協議会 会議録 令和6年度第3回

会議概要	
日時	令和7年3月4日(火曜日) 午後6時30分から午後8時まで
場所	旭川市役所 7階 大会議室 A
出席者	委員（12名、正副会長以外は50音順） 山田会長、中村副会長、伊藤委員、大西委員、佐藤（信）委員、素野委員、 高橋委員、谷越委員、蔦川委員、十川委員、福原委員、山岡委員 （欠席者 今井委員、上野委員、大久保委員、久住呂委員、佐藤（朋）委員、 佐藤（日）委員、高木委員、長谷川委員） オブザーバー 旭川市地域まると支援員 成田支援員、協支援員 事務局等 地域活動推進課 小松主幹、阿部主査 中央公民館 住吉館長
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1 中央・新旭川地域の補助事業 令和6年度の進捗状況

（補足）「中央・新旭川まちづくり推進協議会」を以下「協議会」という。

議事の内容

1 開会

出席委員の確認、オブザーバー出席者の紹介を行った。

2 中央・新旭川地域のまちづくりの検討と推進について

（1）補助事業の進捗状況報告

今年度、活動を実施している3事業について、資料1のとおり進捗状況を確認した。

ア 知新っ子見守り事業

実施団体の知新っ子を見守る会の大西委員と、事業に携わった旭川市地域まると支援員の成田氏から、進捗状況について報告があった。

主な内容は次のとおり。

- ・まずは2月13日に開催した「冬を楽しむ会」について報告する。
- ・地区社協、地域のみなさん、保護者、知新小の1・2年生、旭川市立大学の黒川先生とゼミの学生たちが参加して、雪像作りと〇×クイズをして楽しんだ。
- ・今年は雪が少なく開催を心配していたが、無事に開催でき、子供から大人までみんなが楽しんでいた。
- ・本日3月4日の12時45分から、知新小で交通安全標語コンクールの表彰式があったため出席してきた。
- ・全校集会で、最優秀賞を受賞した児童4人を表彰した。
- ・この4人が作った標語が印刷されたクリアファイルを全校生徒に配布した。

イ 地域居場所づくり推進事業

実施団体の地域居場所づくり推進委員会に参画する福原委員から、進捗状況について報告があった。

主な内容は次のとおり。

- ・2月22日に特別養護老人ホーム新富宏生苑にて、「みんなの冬」と銘打ったイベントを開催した。
- ・午前中、近隣住民たちと一緒に雪だるまとアイスキャンドルを作った。夜にはライトアップして、入居している高齢者に楽しんでもらった。
- ・幼稚園児と小学生、その保護者や近隣の方が参加した。
- ・保育園や小学校、スーパーなどの協力を得て、チラシを貼らせてもらい周知した。
- ・もう少し多くの参加者を予想していたが、コロナ禍以降での初の取り組みであったため、まずは一歩踏み出せたという感想である。

ウ 親子もちつき大会

実施団体の朝日地区親子もちつき大会実行委員会に参画する十川委員から、進捗状況について報告があった。

主な内容は次のとおり。

- ・3月2日に朝日小でもちつき大会を実施した。元々は朝日地区市民委員会の青少年育成部が、

2001年から朝日小の卒業生を送るための行事として始めたものだが、コロナの影響により2021年から中止していた。

- ・もちつき大会の再開に際して、せっかくの素晴らしい行事を、学校と市民委員会だけとするのではなく、色々な組織と連携しながら地域で育てていきたいと思ったため、民児協と地区社協にも入ってもらい実行委員会を立ち上げた。
- ・杵と臼を使って餅をつくという体験をしたことがない人が多いため、市民委員会のOBなど餅つきのベテランに参加してもらい、地域の若者に手ほどきをしてもらった。
- ・当日は96人の参加があり、ボランティアとして25人ぐらいが集まってくれた。
- ・子供たちは普段する機会のない餅つきを体験し、親子でつきたての美味しいお餅を食べ、会場は非常に盛況していた。
- ・もち米、あんこ、プロパンガスなど、必要な食材・資材は、朝日地区の企業から調達した。
- ・学校が全面協力してくれて、参加者名簿を作ってくれたので、事前に参加人数を把握できたことも助かった。

(2) 中央・新旭川まちづくり推進プログラムの改訂について

事務局から、事前に送付していた資料について説明を受け、資料のとおり改訂することを確認した。

(3) 意見交換『今後のまち協会議』について

意見交換における主な内容は次のとおり。

- ・最近、市内でも外国人が働いたり買い物したりしているのを見かけることが多い。市内の人口が減少している中、これからは外国人が増えていき、彼らの力が必要となってくると思う。地域活動に参加しているのは見かけたことがないが、一緒にまちづくりに参画してもらえないだろうか。
- ・建設会社などで外国人を複数人雇っていて、同じアパートに全員入居させているという話を聞いたことがある。道路工事の現場を通ったときに、現場監督以外は全員外国人ということがあった。相当な人数の外国人が市内に居住していると思うが、知り合ったことはない。地域の催しなどに参加してもらってもよいと思うが、きっかけがない。また、地域住民が外国人を受け入れる気持ちが必要だと思う。
- ・言葉の壁があるため、意思疎通できないかと思ってしまう。
- ・夏祭りなどを開催する際には、チラシなどを回覧しているが、外国人にはそれが届いていないかもしれない。
- ・回覧が届かない人のために、コンビニにチラシの貼付をお願いしたことがあるが、本社に確認しないと判断できないとのことだったため、手間をかけさせてしまうと思い、依頼を取り

下げたことがある。

- ・日本語で書かれたポスターを見ても、何を書いているのかわからないかもしれない。
- ・外国人労働者を雇用している企業に対して、地域活動の案内をお願いしてもよいかもしれない。
- ・言葉の壁などもあるが、繋がりを持たないと孤立させてしまう。
- ・話は変わりますが、通学路について話し合いたい。人通りが少ない歩道は道ができないため車道を歩く子供を見かける。車で移動していると気が付かないが、歩いてみると実感する。
- ・通学路の除雪は学校から市にお願いしていて、しっかり除雪してくれているが、それ以外の細い歩道などは行き届いていないのかもしれない。
- ・新旭川地区では、車道よりも通学路の除雪を優先してもらっているため、児童が困っているという話は聞いたことがない。そのような課題を抱えている地区があることを知らなかった。
- ・市の健康アプリでポイントをもらえることがあるが、地域の除雪を手伝うとポイントがもらえる仕組みができれば、手伝ってくれる人が増えるかもしれない。
- ・以前は小学校の先生が登下校時の児童の見守りをしていてくれた気がするが、最近は見かけなくなった。
- ・今でも先生が見守りしているときはあるが、毎日ではない。
- ・次回は「防犯」をテーマに話し合いたいと思う。地域ごとの取り組みなどを聞かせていただきたい。

3 その他

(1) 次回の協議会について

次回の協議会は、改めて日程を案内することとなった。

4 閉会